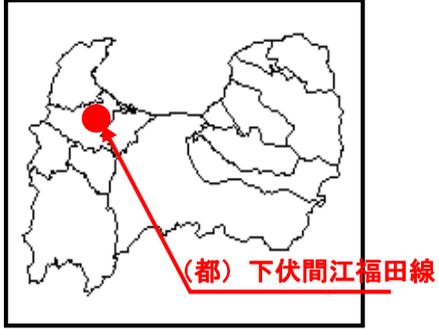


再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	空港・港湾等アクセス道路 都市計画道路 <small>したふすま え ぶくたせん</small> 下伏間江福田線	事業区分	街路	事業主体	高岡市
起終点	自：高岡市佐野 至：高岡市京田			延長	1.1 km
事業概要	<p>本路線は、北陸新幹線新高岡駅を連絡する幹線道路であり、高岡市緊急輸送道路（第2次）にも位置付けられているとともに、高岡 IC 及び総合的拠点港である伏木富山港を結ぶアクセス道路として、物流ネットワークの一部を担う重要な路線である。</p>				
平成20年度事業化	昭和41年度都市計画決定	平成21年度用地着手	平成20年度工事着手		
全体事業費	87億円	事業進捗率	47%	供用済延長	0.7 km
計画交通量	10,000 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) - / 86.1 億円 事業費： - / 85.8 億円 維持管理費： - / 0.3 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) - / 98.8 億円 走行時間短縮便益： - / 96.2 億円 走行経費減少便益： - / 1.7 億円 交通事故減少便益： - / 0.9 億円	基準年：平成30年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C = - ~ - (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C = - ~ - (交通量 ±10%) 事業費：B/C = - ~ - (事業費 ±10%) 事業費：B/C = - ~ - (事業費 ±10%) 事業期間：B/C = - ~ - (事業期間 ±20%) 事業期間：B/C = - ~ - (事業期間 ±20%)</p>				
事業の効果等	<p>京田踏切（JR城端線と平面交差）の改良（地下式立体交差）を含む当該区間の整備により、機能的な幹線道路のネットワークを形成し、インターチェンジ及び港湾へのアクセス性の向上、都市内交通の円滑化を図ることができ、市街地の渋滞解消に寄与するものである。</p>				
関係する地方公共団体等の意見	-				
事業評価監視委員会の意見	-				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	-				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率100%、事業進捗率約47%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成32年度末の2車線での確実な供用に向け、事業進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				
事業概要図					



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。